

ふれあい

2019

4

No.385

牛久愛和総合病院 広報誌



「新年度のご挨拶」

常仁会グループ理事長

たねだ よしろう
種子田 吉郎



新年度を迎えるにあたり皆様にご挨拶申し上げます。

日本では約200年ぶりとなる天皇の生前退位に伴い、「平成」という時代も残すところ1ヵ月となりました。新しい時代へと移り変わる素晴らしい年に牛久愛和総合病院へ59名、常仁会グループ全体では120名のこれからを担う意欲と活気に満ち溢れた皆さんを迎えられたこと、そして共に働くことができることを心より嬉しく思っております。

昨年度は、癌治療の常識を覆す画期的な治療薬「オプジーボ」の開発に繋がる、癌と闘う免疫を制御する効果を持つ分子

「PD-1」を京都大高等研究院の本庶佑特別教授が発見し、ノーベル医学生理学賞に選ばれました。日本では2年ぶり26人目のノーベル賞受賞者となり、日本の医療界に明るいニュースをも

たらしめました。しかし一方で、2018年の「今年の漢字」に「災」が選ばれるほど地震・台風・豪雨と自然災害が相次ぎ、災害時の医療体制について改めて考えさせられる年でもありました。

また今年度の医療界は、2025年をピークに高齢化が進むにあたり昨年スタートした、「第7次医療計画」の中間見直しを2020年に行うにあたり、方針の見直しを定める大事な年となります。弊会も、大きく変化する医療ニーズに応じた病院づくり、関連施設と連携を取りながらの運営強化をし、皆様により良い医療・介護サービスの提供が出来るよう、より一層努めてまいります。

新入職員の皆様にも貴重なチームメンバーとして戦力となっていただけることを、大いに期待しております。

常仁会グループは現在、一般社団法人常仁会グループと、社会福祉法人マリア会グループで構成され、「牛久愛和総合病院」を中核施設とし、新潟市、高知市、北九州市、宮崎市において

15施設を運営しております。

茨城県取手・竜ヶ崎医療圏では、2005年総人口465,984人が2025年には448,887人と予測され、2005年から2025年の間に4%程度の減少が予測されており高齢化が進み、医療及び介護需要が増加いたします。当グループの理念である、「急性期医療」「予防医療」「高齢者医療」の3つの柱を軸に、医療と介護を垣根なく提供できる強みを活かし、迫り来る2025年問題への対応、国が推進する地域包括システム構築等に貢献してまいります。そして、牛久市を中心とした県南地域のみならず、県内で屈指の民間病院として地域の皆様選ばれ、信頼される病院・組織づくりを目指します。

最先端かつ安全な医療を提供することを目標に、職員一人一人が役割を果たし、患者の皆様、ご家族に安心感・満足感を提供できるよう努力して参りますので、今年度もご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ここが知りたい！

Q 緑内障ってどんな病気？

A 緑内障は日本人の視覚障害者の原因疾患の上位でありますが、その多くの方が初期では自覚症状がないといわれています。眼圧が正常でも視神経が障害される正常眼圧緑内障という疾患もあり、眼圧検査だけでは緑内障を発見することができず、眼底検査などで緑内障になる危険性があるかを調べることができます。眼底検査では視神経の障害の程度を判定することができ、視神経の眼球の出口（視神経乳頭）には、小さくぼみがあり、緑内障ではこのくぼみが拡大します。健康診断では「視神経乳頭陥凹拡大」と判定されます。近年は光干渉断層計といった、三次元画像解析装置を用いて視神経乳頭や網膜の神経線維の厚みを測ることで、緑内障の初期の診断や進行の程度なども依然より詳しくわかるようになってきています。当院でも



（眼科医長…矢部 美香子）

Q & A コーナー

この三次元画像解析装置を新たに導入し、緑内障の診断に役立てております。緑内障は初期であれば点眼治療のみで、視野の障害を抑制できることも多いため、早期発見が重要となります。早期は自覚症状がないため、検診等で眼圧検査、眼底検査をチェックされることをおすすめいたします。緑内障は遺伝的な要素に加え、加齢、喫煙、糖尿病、近視、ストレスなどの要因が加わっておることがいわれていますので、生活習慣に気を付けることと、定期的な検診などをうけて早期発見に努めることが望ましいと思います。

DMカフェ



糖尿病・代謝内科 宜保 英彦

最近、糖尿病患者さんで骨折の危険性が高まることが指摘され、骨粗鬆症は糖尿病の合併症の一つとして認知されつつあります。糖尿病に合併する骨粗鬆症は、一般的な骨粗鬆症とは異なり、骨密度がそれほど低くなくても骨折してしまうという特徴があります。糖尿病では骨の構造を支える部分に糖化したたんぱく質が蓄積することで構造の質が低下するうえ、新たな骨を作る細胞がうまく働けず骨の修復が遅れることなどにより、骨折しやすい状態となります。骨粗鬆症は、骨密度の低下と骨折歴で診断します。特に背骨の骨折（椎体骨折）では、痛みもなく気付かないうちに骨折している場合もあるため、骨密度検査のほか、背骨を撮影するX線検査での確認も必要となります。骨折予防に大切なこととして、適切な量のカルシウムやビタミンDを摂取すること、適度な日光浴を行うこと（ビタミンDは日光に当たると皮膚で産

5月糖尿病教室のお知らせ

5月8日(水)

糖尿病について（岩崎医師）

5月15日(水)

運動療法について（理学療法士）

5月22日(水)

糖尿病と薬（薬剤師）

◆時間：14時30分

◆場所：C館1階から情報館事前予約不要、参加費無料です。興味のある方は、お誘いあわせの上、ぜひご参加下さい。

入職者

3月16日付

■看護部

看護師

大和田 美奈

患者さんの不便が少しでもなくなるよう、ここがけています。

※2019年4月度新入職者の紹介は5月号に掲載させて頂きます。

2019年大型連休（GW）期間中の診療体制についてのお知らせ

4月27日(土)	4月28日(日)	4月29日(月)	4月30日(火)	5月1日(水)
通常診療	救急体制 内科・外科	救急体制 内科・外科	通常診療	通常診療
5月2日(木)	5月3日(金)	5月4日(土)	5月5日(日)	5月6日(月)
通常診療	救急体制 内科・外科・小児科	救急体制 内科・外科・小児科	救急体制 内科・外科・小児科	救急体制 内科・外科・小児科

※大型連休中、急患は24時間体制で診療を行っております。

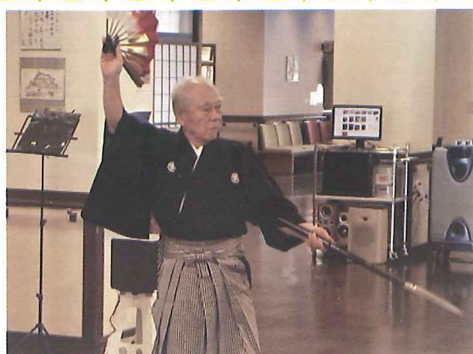
※小児科（3日～6日）は8:30～16:30までの受付です。診察はB館1階となります。

春秋園だより

今回は三月八日に来て頂いた歌のボランティアの皆様「あざみの会」のご紹介をしたいと思います。

最初は、着物を着たボランティアによる踊りを披露して頂きました。音楽に合わせ、扇子を振りながら踊る日本舞踊はとても見事で、利用者からは驚きと喜びの声を聞くことが出来ました。

次にスーツを身にまとった方による歌を披露して頂きました。歌声もとても素晴らし



く、聞いている利用者の中には口ずさみ、リズムを取りながら歌を楽しまれている方もいらつしゃって、非常に良い雰囲気の中で午後の時間を過ごすことが出来ました。その後、色とりどりの衣装で踊りや歌を順々に披露していただきました。

これからも、ボランティアの皆様にご協力いただきながら、利用者を楽しんでいただけるようなイベントを考えていきたいと思っています。

(春秋園 通所スタッフ一同)

■看護専門外来

今回、ご紹介させていただくのは看護専門外来です。看護専門外来は、特定の看護分野において熟練した知識と技術を持った認定看護師が皆様の相談に応じる外来です。

当院には、皮膚・排泄ケア、がん化学療法、脳卒中リハビリテーション看護、摂食嚥下障害看護の4分野4名の認定看護師と、1名の感染制御実践看護師が在籍しています。

「床ずれを予防するにはどうする?」「抗がん剤の治療ってなに?」「脳卒中を予防するには?」「食べるのにむせる」「予防接種の計画はどうする?」など、普段の生活の中で悩みのことがありましたらぜひ、看護専門外来をご利用ください!!

看護専門外来は、平成30年の7月に開設した新しい外来となります。皆さんの入院中の生活から在宅での生活まで継続した支援が行えたら一同考えております。

看護専門外来日

毎月第一月曜日

時間

午前 9:00～12:00

午後 13:00～15:00

(1枠45分程度)

予約については、看護相談窓口にお声を掛けください。当日の相談も受け付けております。

(摂食嚥下障害看護認定)

看護師・橋本由美



『第75回』

生活習慣病教室

テーマ

脂肪と炭水化物の話

「摂った方がいいの?」

「控えた方がいいの?」

日時 平成31年5月7日(火)

14時30分から

15時30分から

講師 特任副院長兼

循環器科部長

阿部正宏 医師

会場 牛久愛和総合病院

B館2階 大ホール

参加費 無料

事前予約不要、興味ある方はお誘いあわせの上、ぜひ参加下さい。

◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

☎029-873-3111(代)



《出来事ピックアップ》

医療安全講習会

2/22・2/27

テーマ・

「院内における医薬品等の

適正な保管・管理」

先日、2月22・27日の2日間にて、永島満彦氏（当院薬剤センターリスクマネージャー）を講師に迎え、全職員を対象に平成30年度医療安全後期講習会を開催しました。（647名参加）

内容は当院で扱われている「麻薬」や「ハイリスク薬」、「向精神薬」の管理方法、「毒物・劇物」、「毒薬・劇薬」の相違や表示方法など、医療界ではお馴染みの取り扱いに関する法律や具体的な事例についても触れた内容であり、改めて薬剤の危険性や管理の重要性について再認識させられた講習会でもありました。

(医療安全推進室室長

古木和哉)

卒園式

3/17

3月17日(日)、卒園式を行いました。今年の卒園生は11名でし

た。式典では、

少し緊張しながらも名前を

呼ばれると、

大きな声で返

事をし卒園証

書を受け取り

ました。リズ

ム・詩の朗唱

を行ない、成長した姿をご父母

の皆様方に見て頂きました。そ

して在園児と一緒に元氣いっ

い歌をうたいました。最後は自

分達で作ったメダルをお母さん

に「ありがとう！」とプレゼン

トをしました。「一年生になっ

たら」の歌をうたい、紙吹雪の

中、力強くマリア・ナーサリー

を巣立って行きました。

(保育課…宮一明美)

編集だより

いよいよ平成に終止符がうたれ、新しい元号が時を刻み始めます。そんな特別な年、自分にとっても記憶に残る年にしたいものです。新年度のスタートと共に何かにチャレンジしてみるのがいいかもしれませんね。

(Y・A)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小児科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮膚科 (レーザー外来)
外科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間



牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

